

ゴミ焼却費をめぐるサギ事件・・・初公判はじまる

裁判にかけられているのは、3人の被告だけ

# しかし問われているのは 浜田市長の政治責任

ゴミ焼却場の委託料が暴力団に流れていた・・・別府市政はじまって以来の不祥事で、3人が起訴され、16日に初公判がありました。

このなかで、河村被告（『別府環境』社長）は起訴内容を認め、北野被告（暴力団会長）は「受け取ったカネが詐取したものは知らなかったと無罪を主張」と、報道されています。（4月16日『合同』夕刊）

しかし、市民が注目しているのは3人の被告の刑事責任ではありません。問われているのは浜田市長の政治責任ではないでしょうか。

## 水永も北野も 労組結成から関与

北野被告は「詐取したカネとは知らなかった」と主張したとのことですが、知らなかったはずがありません。

『別府環境』設立の1年前の労組結成時（09年3月29日）に、水永と北野が事務所を訪れ、組合員名簿をチェックしていたことは、当時の従業員が証言しています。

この労組も『別府環境』が仕事を委託される見通しがついたら、解散しています。

つまり、北野らは、はじめから委託料を詐取する意図をもって、ゴミ焼却場に乗り込んでいたのです。

げんきニュース

日本共産党 平野文活 えんど久子

2013年

4月21日

NO, 551